



笠亭仙果作
一陽齋豊國画

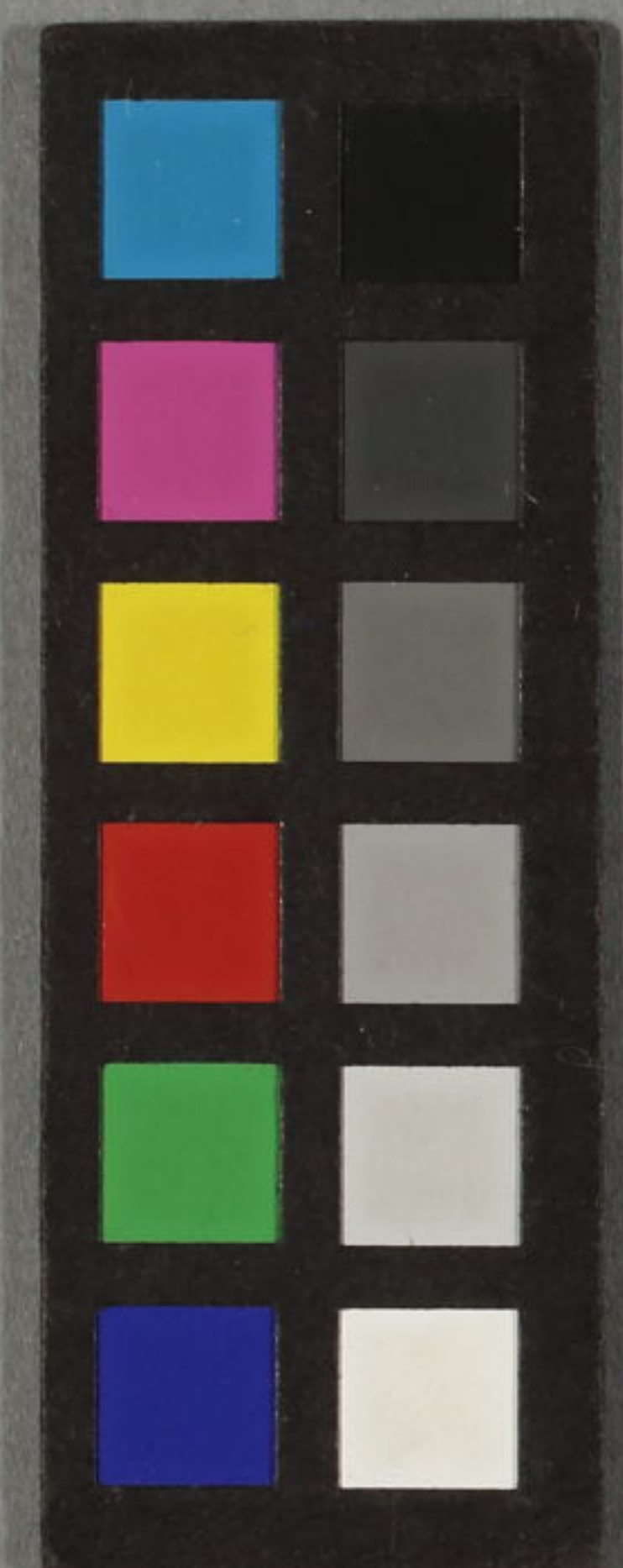
初編下

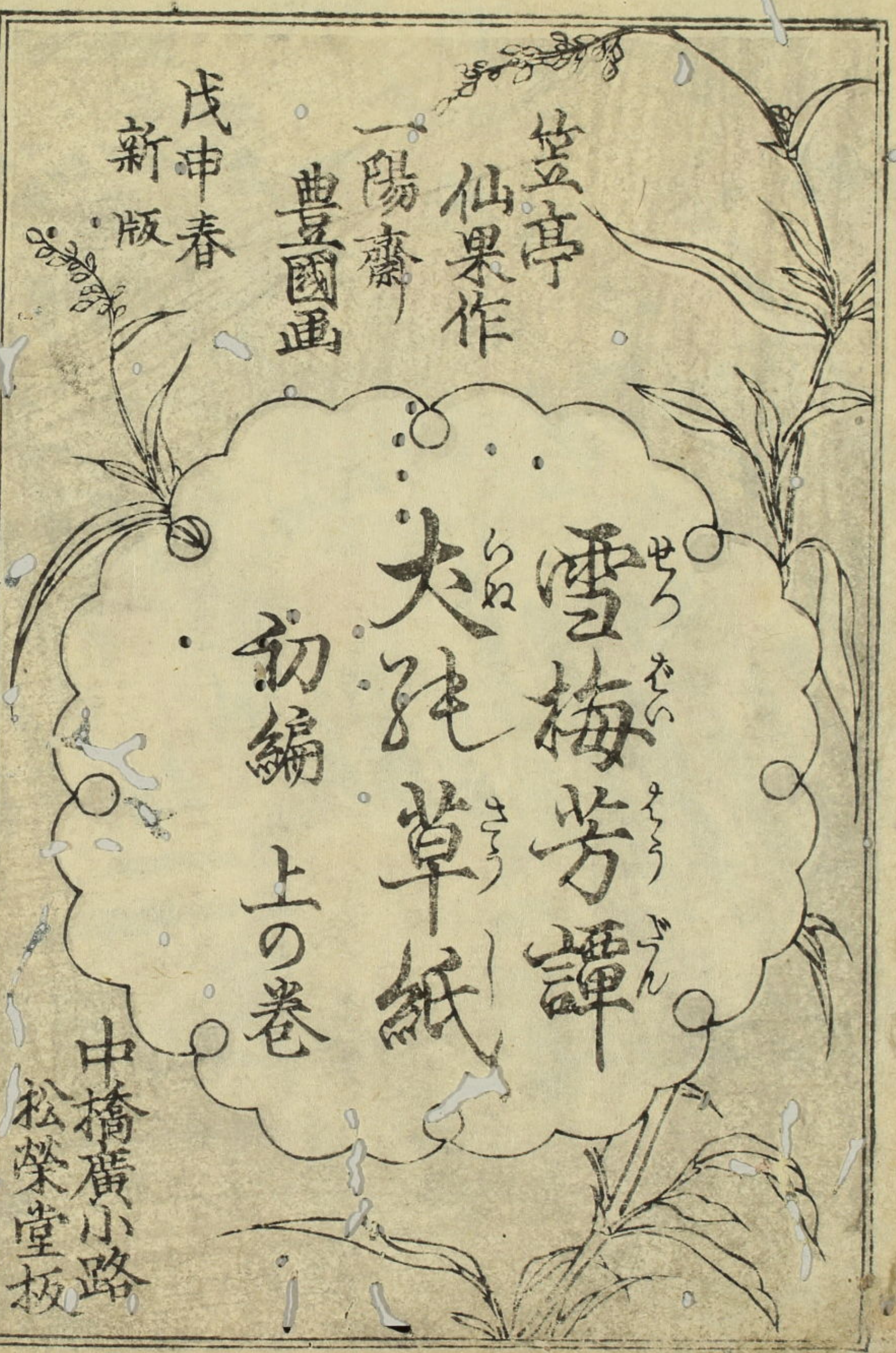
大雪の梅芳譚
草紙

弘化戊申春

初編上







笠亭

仙果作

一陽齋

豊國画

戊申春

新版

雪梅芳譚

大純草紙

初編 上の巻

中橋廣小路

松榮堂板

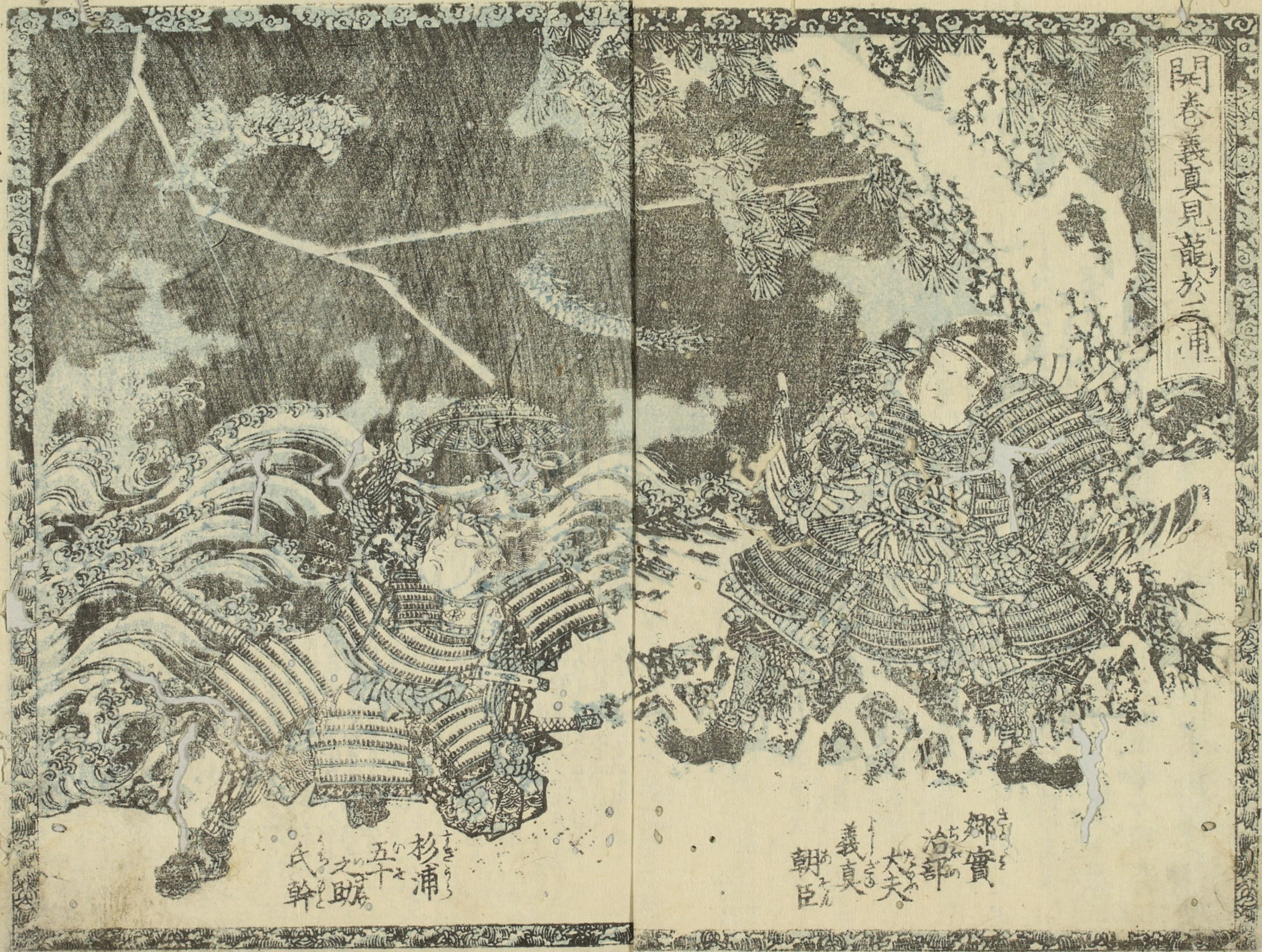
緞伸 雪梅芳譚 犬の草紙序

京町々の京橋の猫の薄雲の朦朧月夜此草造紙不及のありと世の評判の羨しく予自然の作をばは様やとらん種とよはんと決難う節もをり松榮堂来て曰犬の草紙を著るもよけれ予曰吾の其意あるありぬと近頃一犬戯作の塵を吹万賢實不見る事ある南總里見の大掬太郎殿や二郎殿の皆甜く後つる日本の茶團子も伴を申せりは正直老父の愛せり大も花咲きやうととつる香ひ又曰伴をせりやうも取次り夜をまゐるのたまに可り如此とて註文せれ其の何共迷惑と流るる未熟との物何をのま下向て問のる其許の事あり大々三羊入生不願の毛皮の修行加之此此小説或物語九出の本下見六七番の国守の水滸傳もの格で分の事腹のいふをせり松坂屋々帰去りてかゝる註文を何ぞの左の如く

笠亭仙果鈔録



開卷義真見龍於三浦

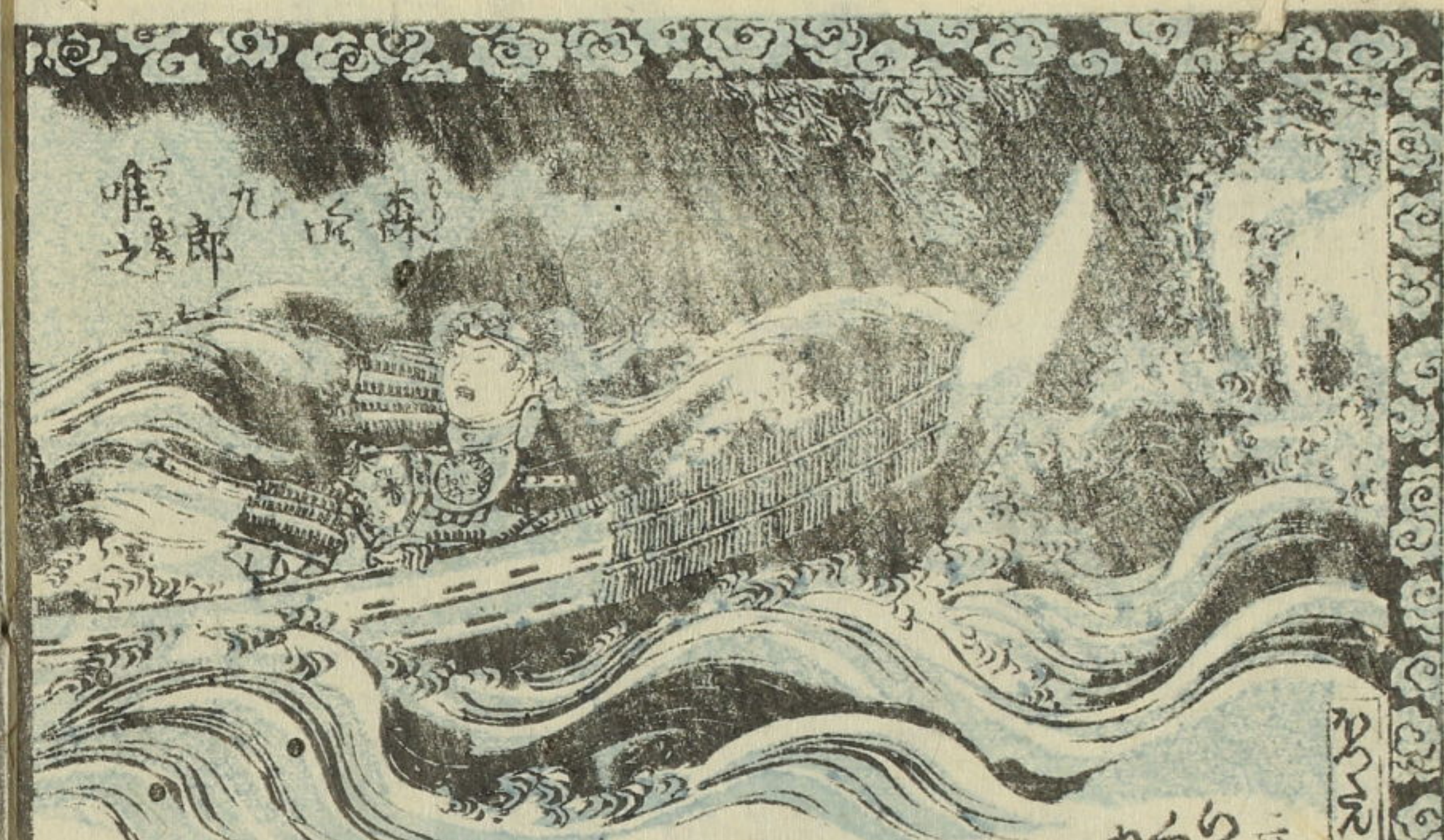


朝臣 義真 大夫 治部 卿實

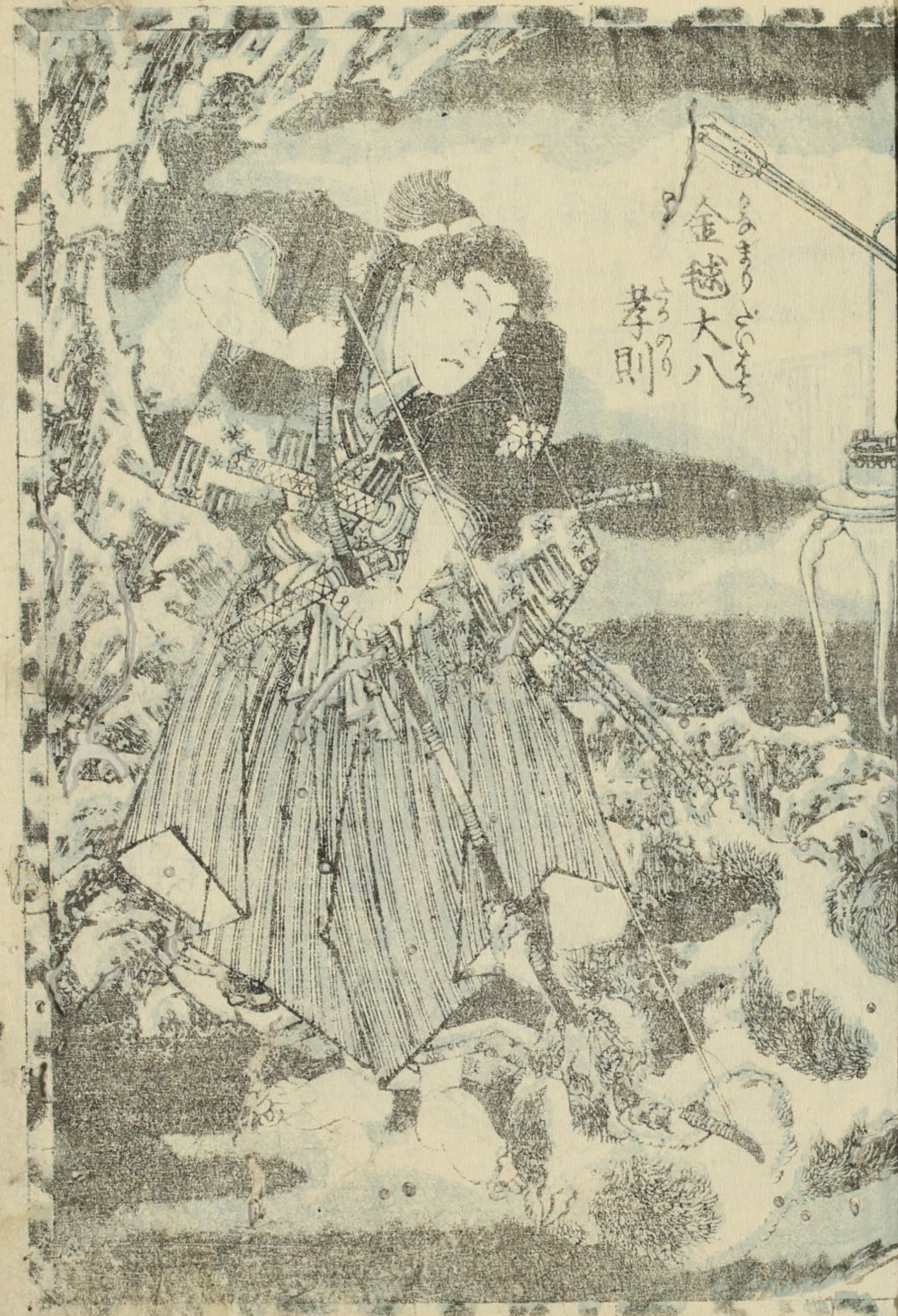
杉浦 五之助 氏之助 幹



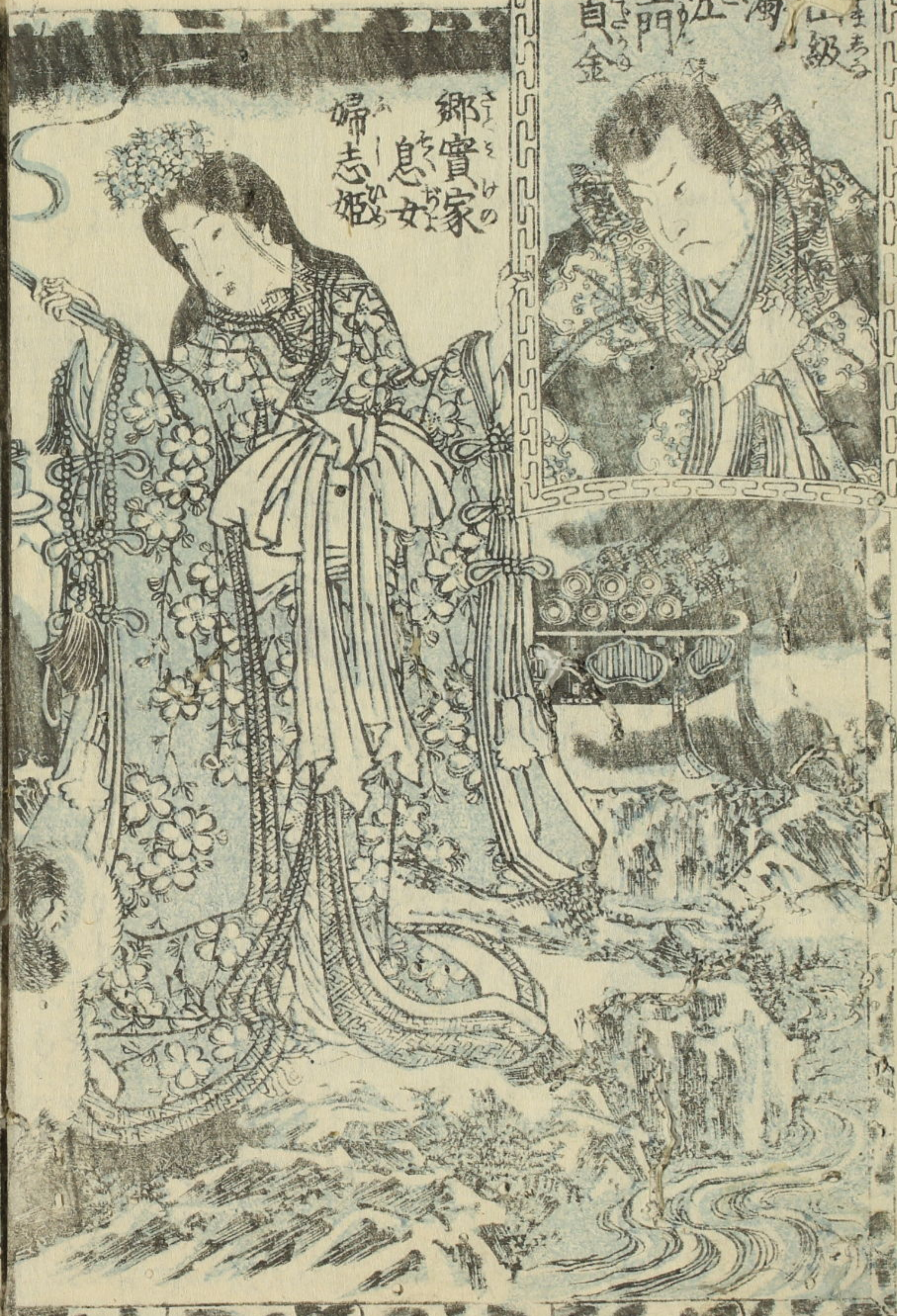
Vertical columns of Japanese text, likely a narrative or commentary related to the illustration above.



Vertical columns of Japanese text, likely a narrative or commentary related to the illustration above.



金毘大八
孝則



郷實家の
息女
婦志姫

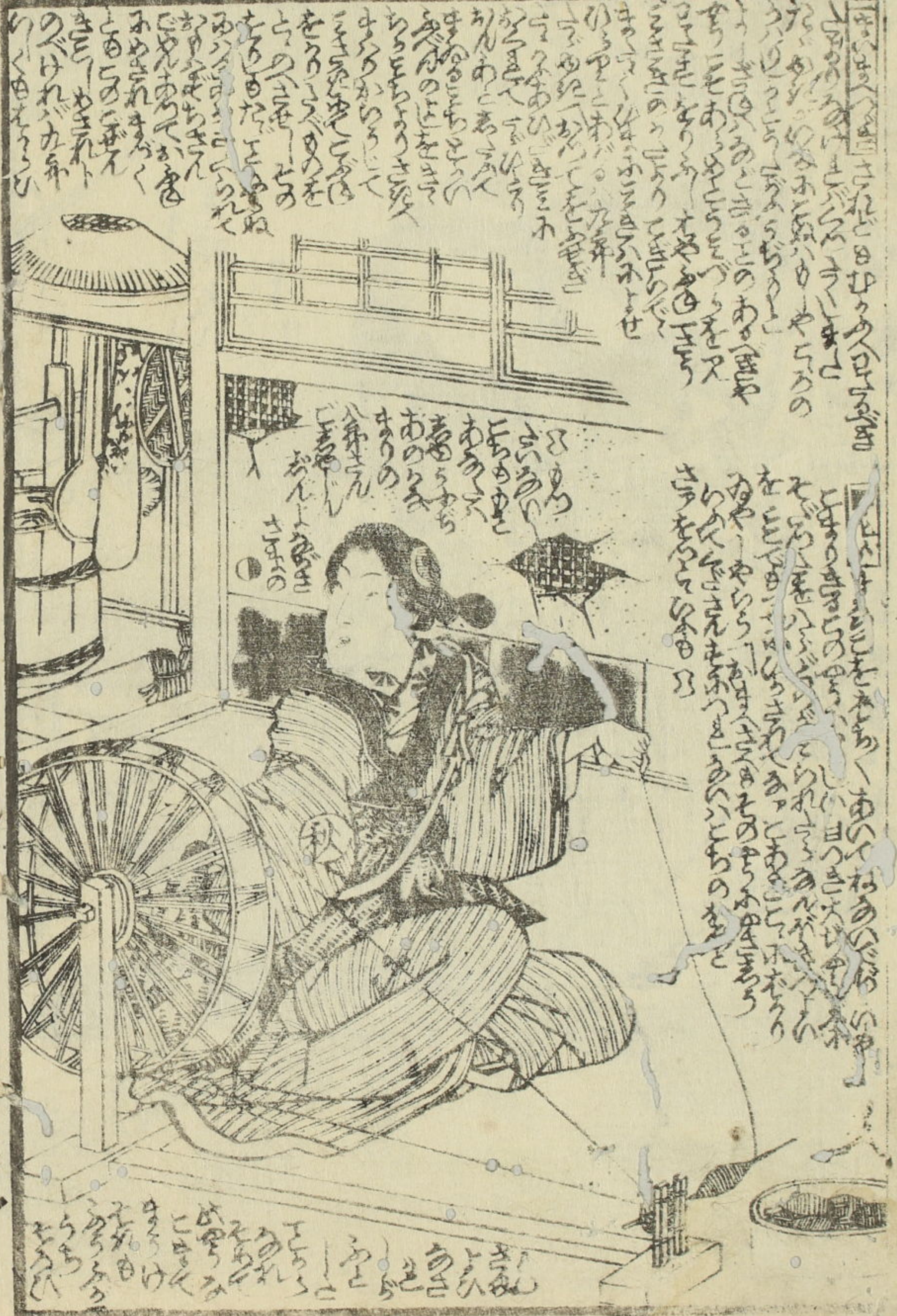


濁左門
貞金



Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the left page, including the characters 'おのゝこ' and 'おのゝこ'.

Handwritten Japanese text in vertical columns surrounding the illustration on the left page, including the characters 'おのゝこ' and 'おのゝこ'.

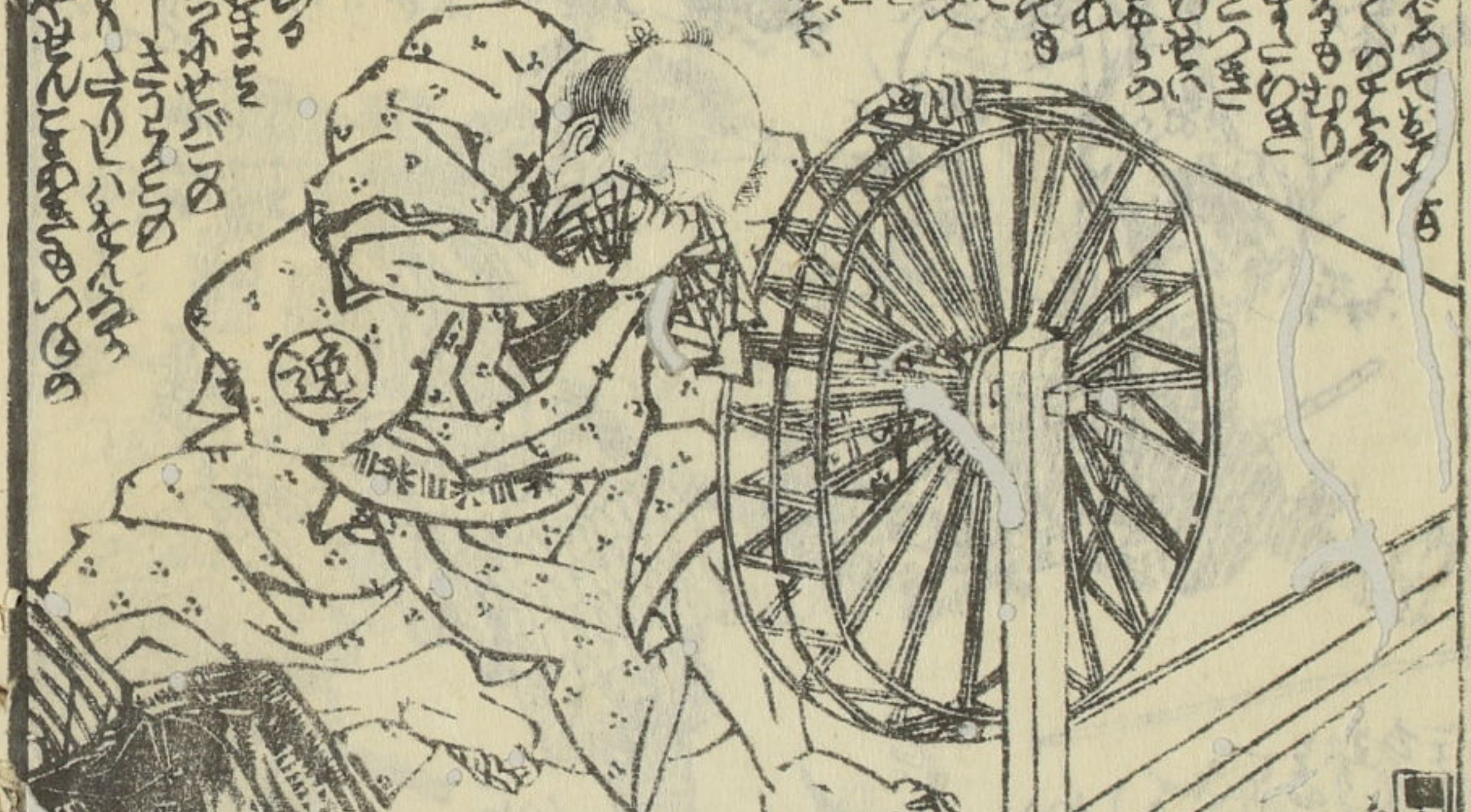


Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the right page, including the characters 'おのゝこ' and 'おのゝこ'.

Handwritten Japanese text in vertical columns surrounding the illustration on the right page, including the characters 'おのゝこ' and 'おのゝこ'.



Vertical columns of handwritten text in a cursive script, likely a historical record or narrative, located at the top of the right page.



Vertical columns of handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page, continuing the narrative or record.

Vertical columns of handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.



Vertical columns of handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, continuing the narrative or record.



大のうらな
 田をひきかえりて
 あはれおとまりの
 ぬしをひらきし
 づらりつゝ
 ひろくさき
 まさしるし
 中をひらきし
 ときんすけ
 まさしるし
 のりおのり

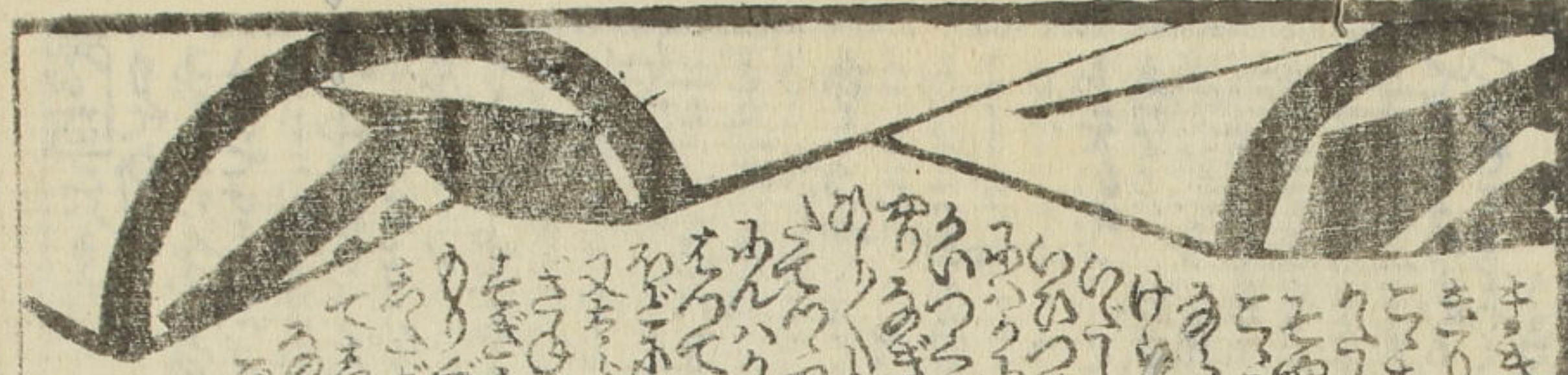


田をひきかえりて
 あはれおとまりの
 ぬしをひらきし
 づらりつゝ
 ひろくさき
 まさしるし
 のりおのり
 まさしるし
 中をひらきし
 ときんすけ
 まさしるし
 のりおのり

十八九のころあつ
 とむけふあつ
 うらな
 まさしるし
 のりおのり

十八九のころあつ
 とむけふあつ
 うらな
 まさしるし
 のりおのり

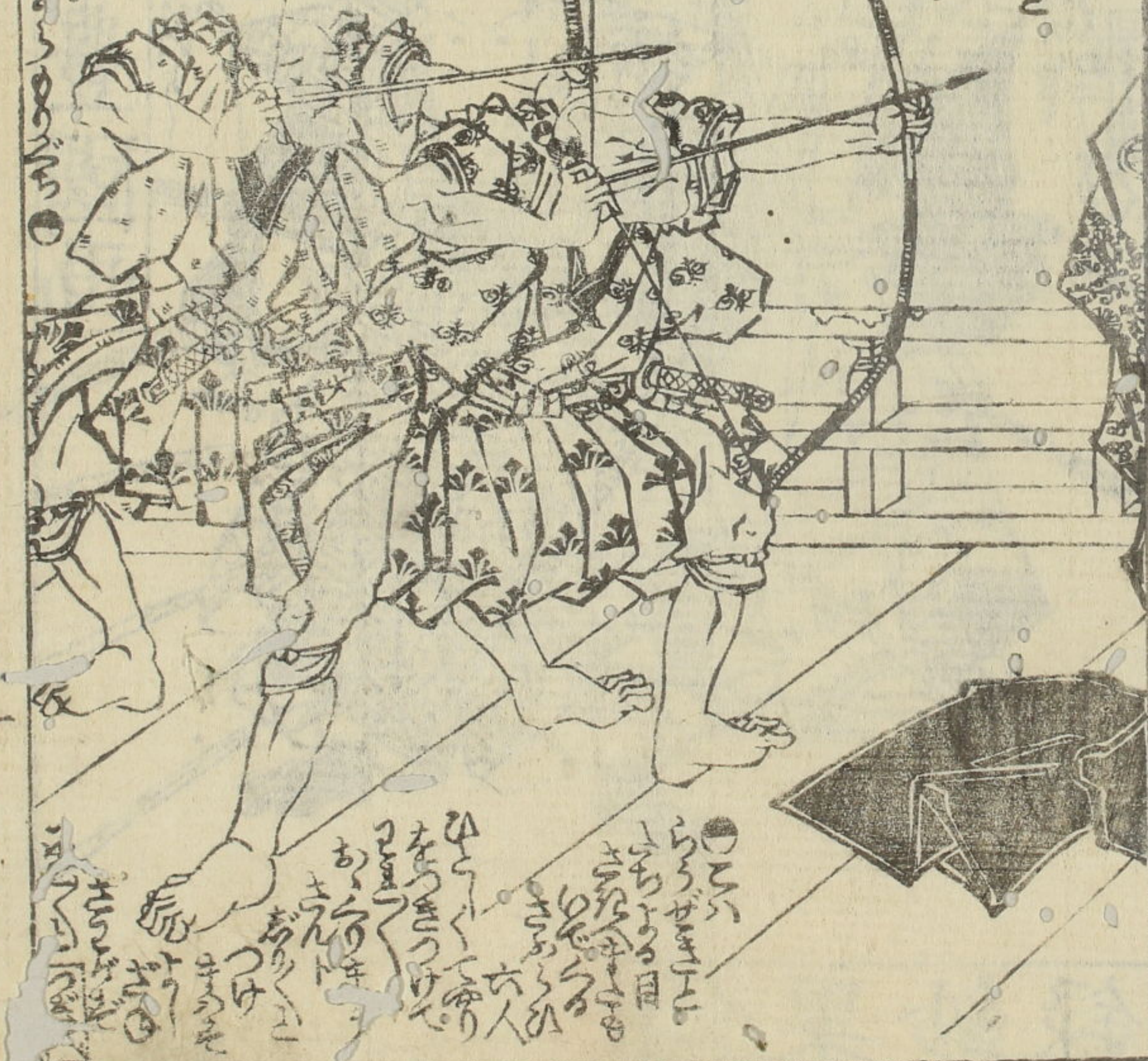
九



この世は夢の如く
うつろひて行くなり
その身を以て
定めしめしむるは
人の業に非ざる
や
ちかむべき世に
あらんことを
いふは人の業に
非ざるや
さるる人あり
わが身を以て
定めしめしむる
は人の業に非
ざるや
ちかむべき世に
あらんことを
いふは人の業に
非ざるや



人の業に非ざる
や
ちかむべき世に
あらんことを
いふは人の業に
非ざるや
さるる人あり
わが身を以て
定めしめしむる
は人の業に非
ざるや
ちかむべき世に
あらんことを
いふは人の業に
非ざるや



人の業に非ざる
や
ちかむべき世に
あらんことを
いふは人の業に
非ざるや
さるる人あり
わが身を以て
定めしめしむる
は人の業に非
ざるや
ちかむべき世に
あらんことを
いふは人の業に
非ざるや

歌川豊國画



録鈔果仙



濡衣霧雨草紙

一名霧太郎 初編五編を出版

柳亭梅彦作
梅蝶樓國貞画

東譚話宇津山包

一名馬子教 初篇五篇を出版

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

實母散

せんせんごんごんちのもち一切の妙茶

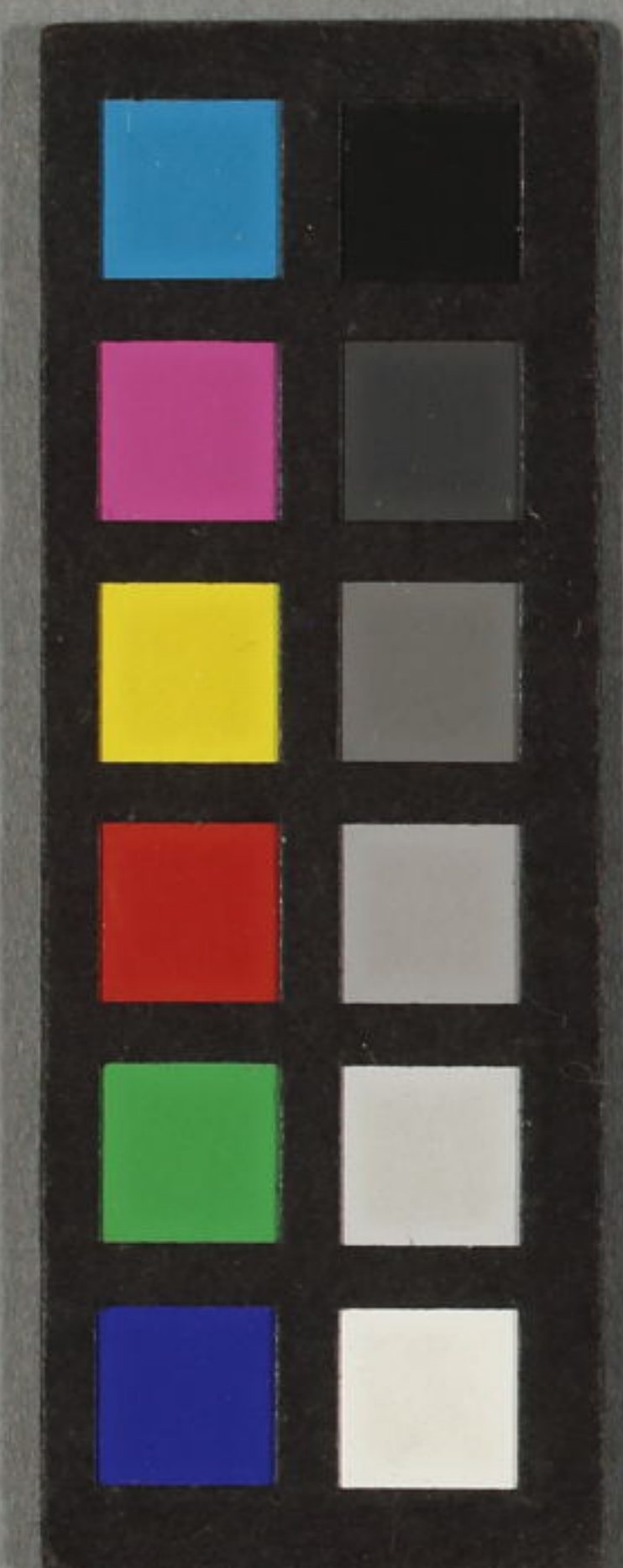
中橋南傳馬町二丁目東
千葉堂孝輔製

せんきの炒茶

御免病積湯 せんきくつふり
御用薬所 信州上田東山堂製

一包 四十八錠
一包 廿四錠





笠亭仙果作
一陽齋豊國画

初編下

犬のしるし

初編

下巻

仙果作

豊国画

戊申 初春

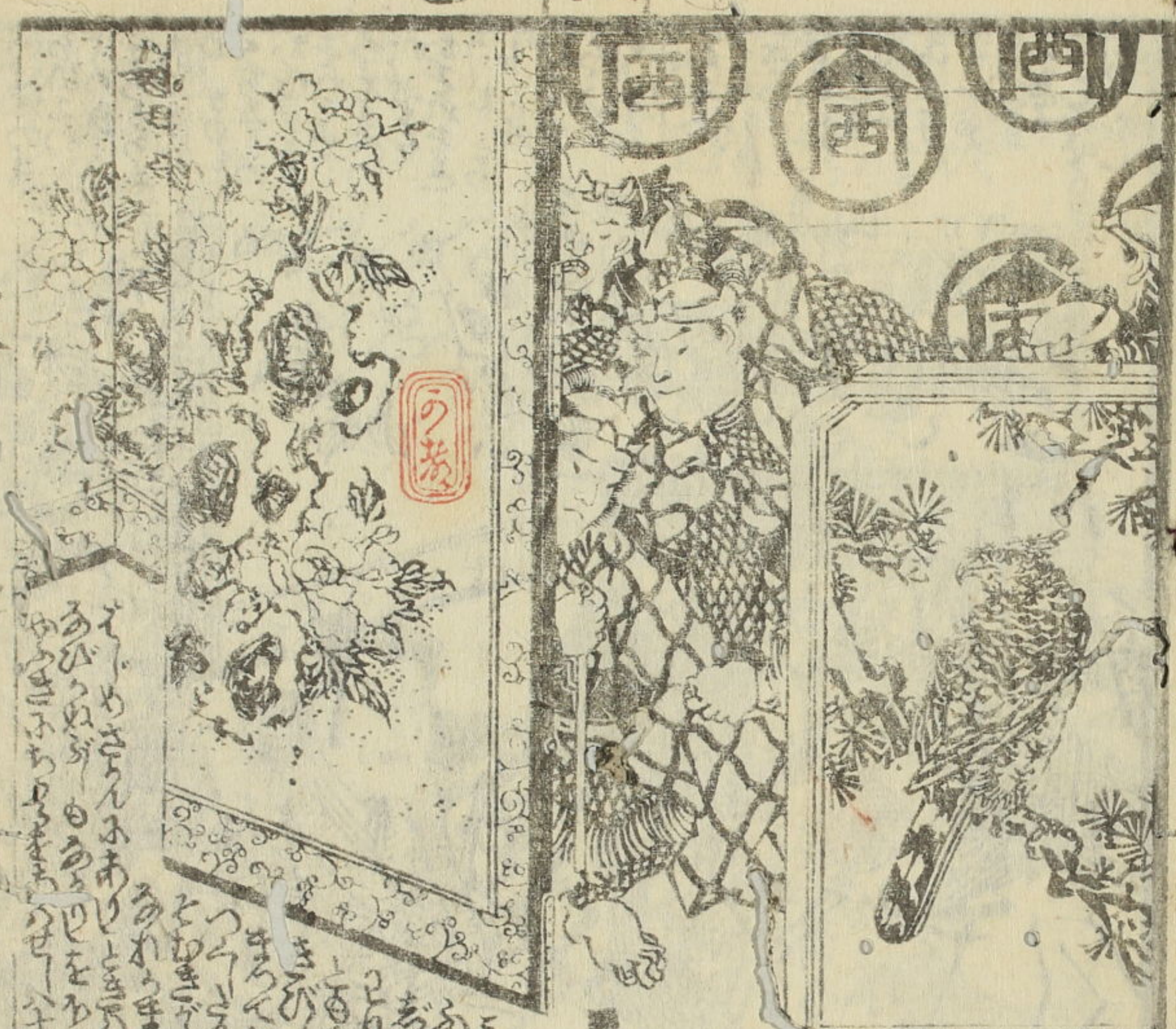
中橋



松榮堂板



玉波子



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a commentary or a list of names related to the illustration.

大

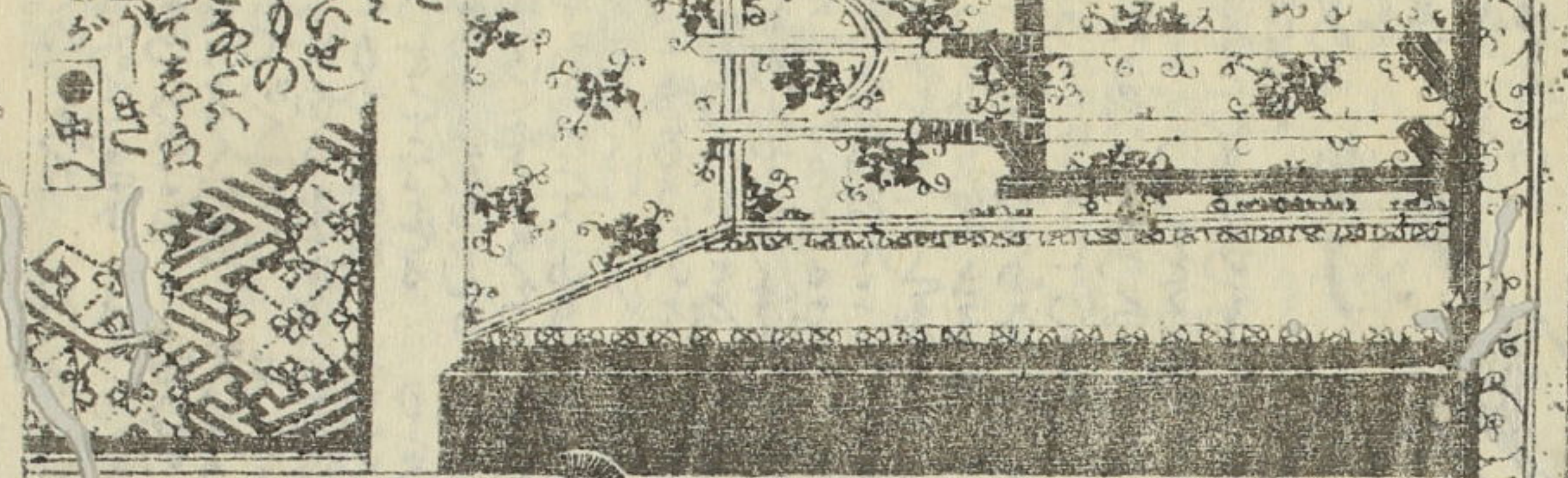
十

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a story or dialogue, located at the top of the right page.

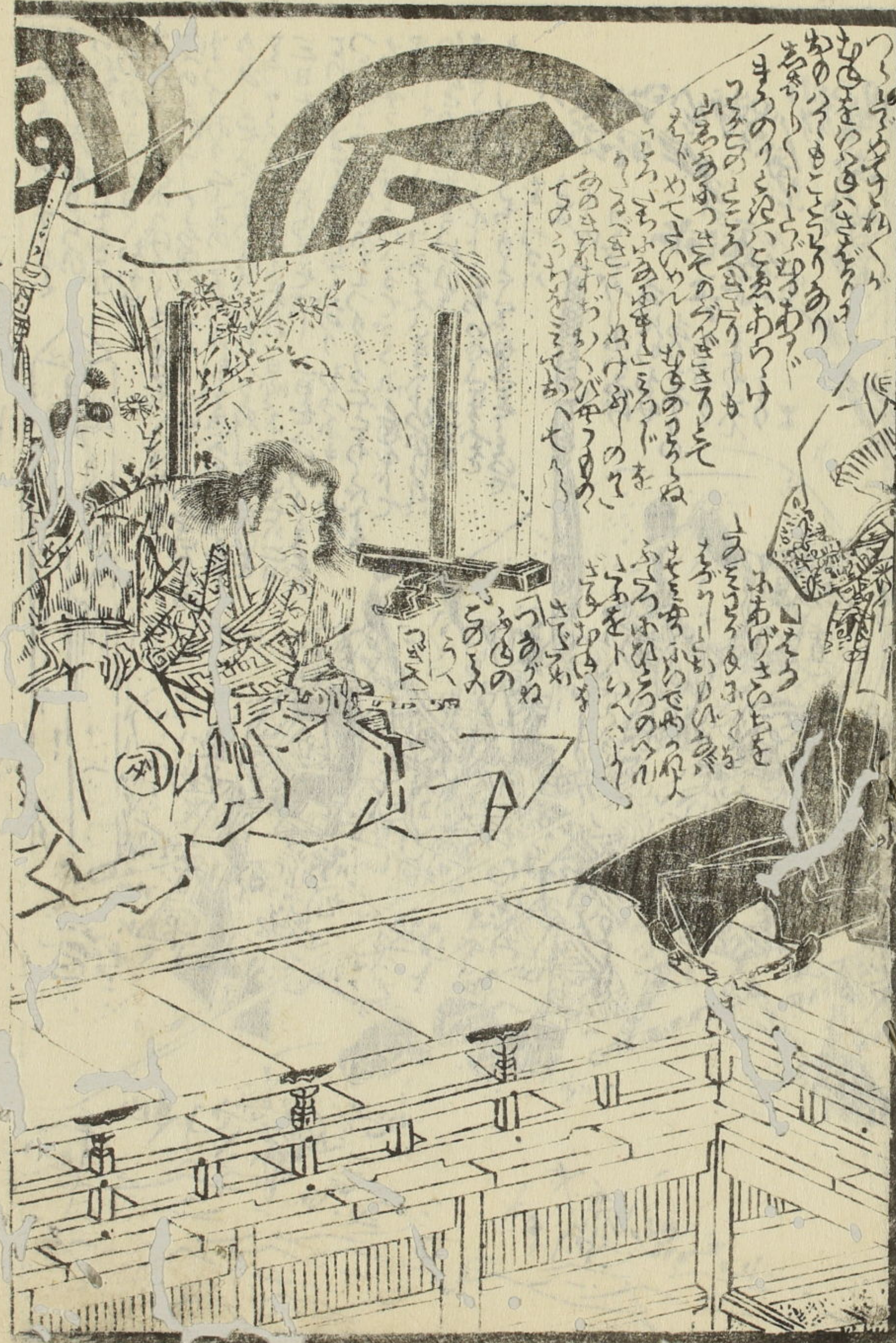


Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or dialogue from the scene above, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a story or dialogue, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or dialogue from the scene above, located at the bottom of the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the upper right quadrant of the left page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle right quadrant of the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the upper right quadrant of the right page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle right quadrant of the right page.

大のヒツミ

三つにわかれぬこと
 りらぬあまゆをまほせ
 うらなひききりておかせ
 神にうけいりてさかぬとていさか
 父のまにうておぼろぢもあらずいひておぼろぢの
 まつらあひすのころあつたおぼろぢの
 うらなひききりておかせ
 三日せられぬとて二日せられぬとて
 こゝろなすをせむくありわづかきか
 つまをうけんこゝろをうけんこゝろを
 大いづうのこゝろをうけんこゝろを
 美にやあんなこゝろをうけんこゝろを
 りあともいふらひひておぼろぢの
 あつたおぼろぢの
 ありておぼろぢの

あつたおぼろぢの
 りらぬあまゆをまほせ
 うらなひききりておかせ



あつたおぼろぢの
 りらぬあまゆをまほせ
 うらなひききりておかせ



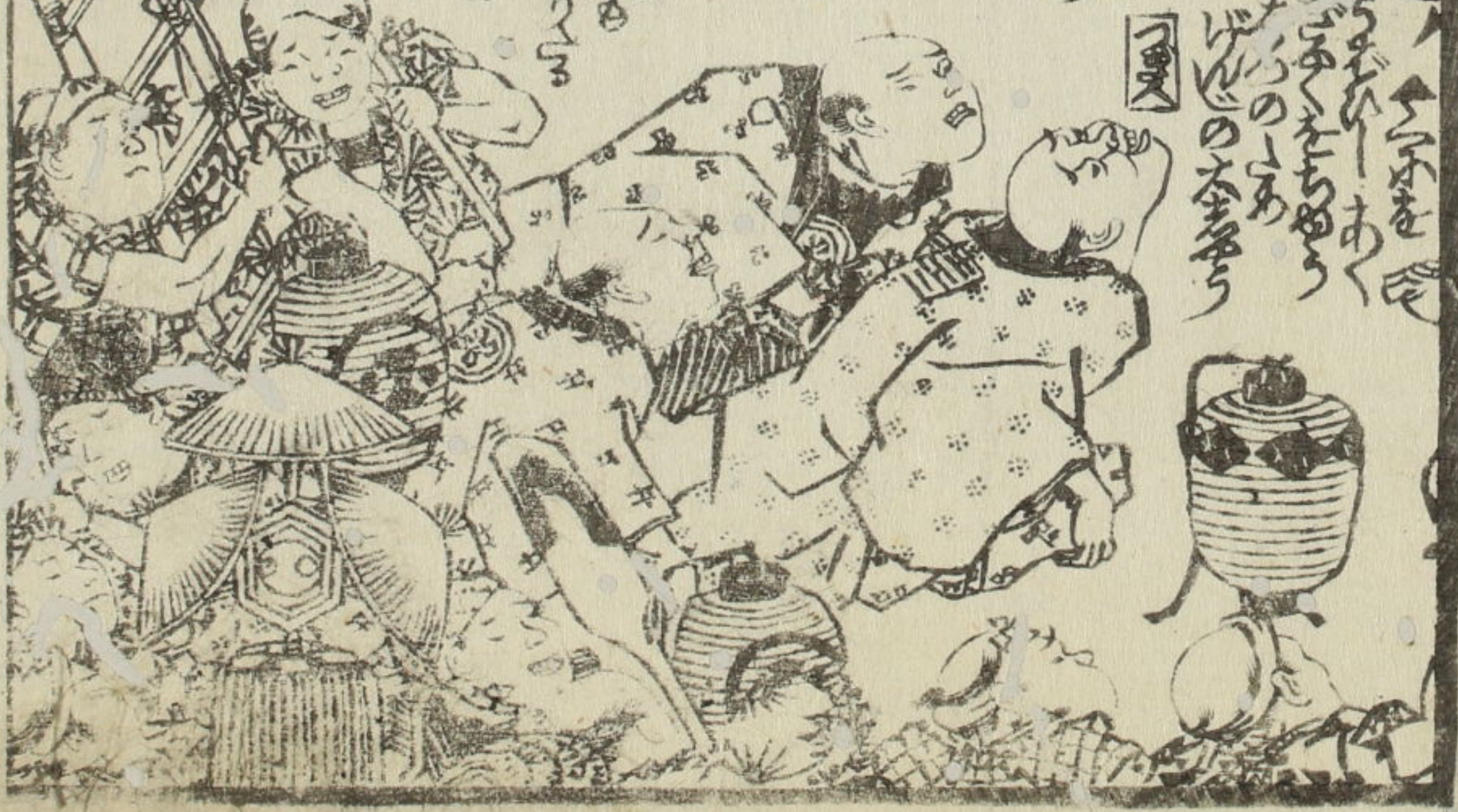
あつたおぼろぢの
 りらぬあまゆをまほせ
 うらなひききりておかせ

あつたおぼろぢの
 りらぬあまゆをまほせ
 うらなひききりておかせ

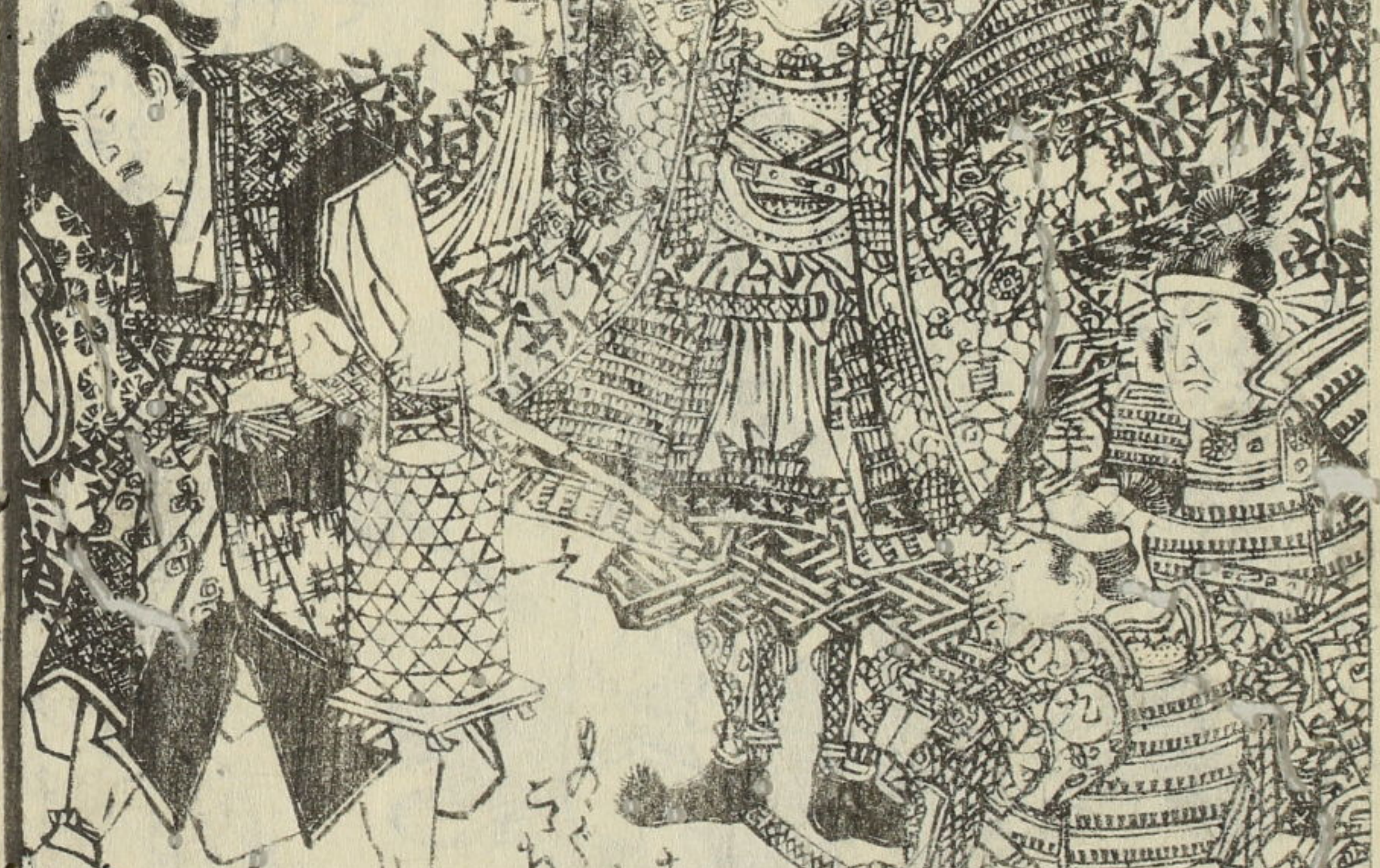


Handwritten text in a vertical column on the left side of the top page, likely a preface or introductory text.

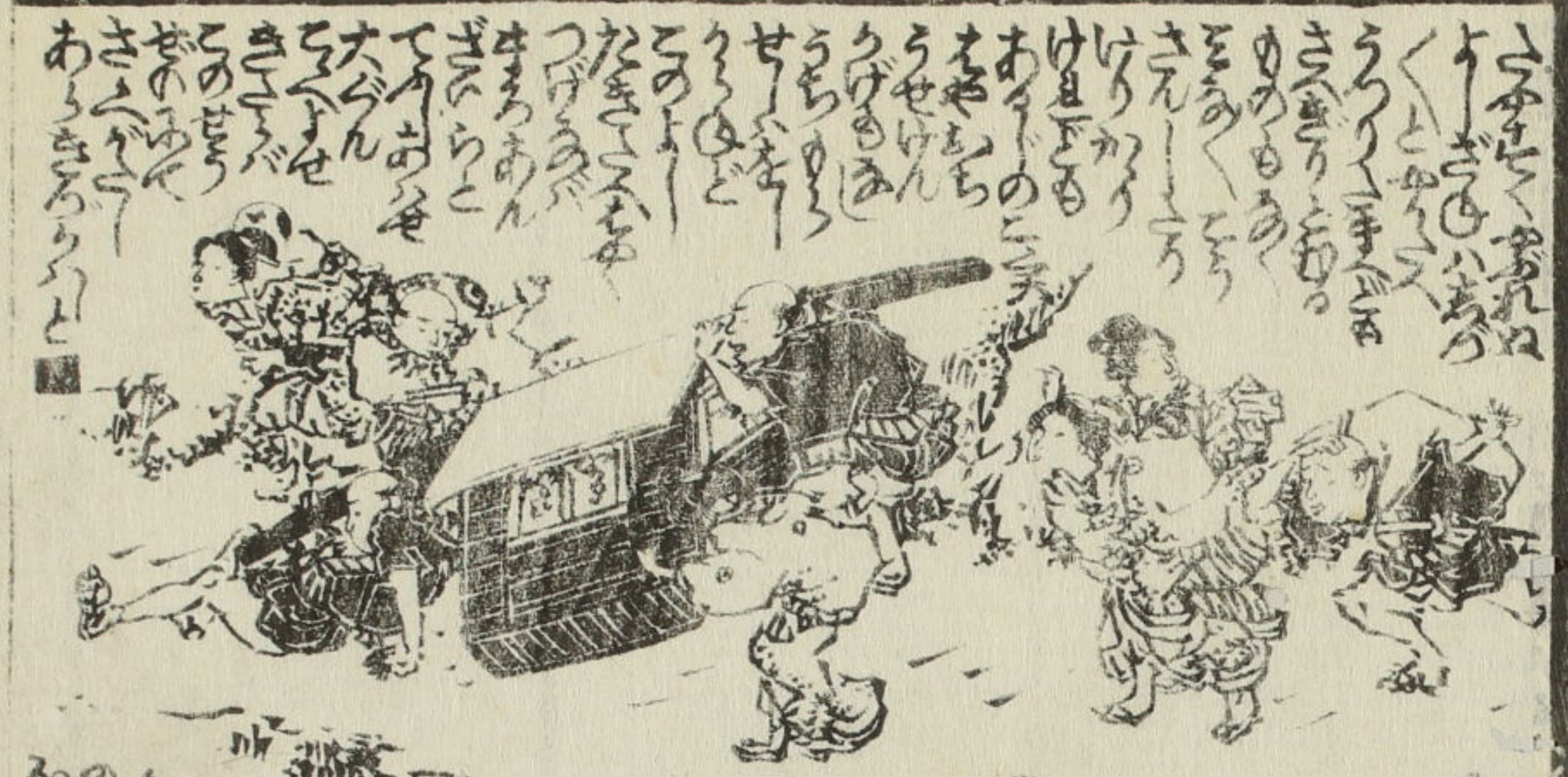
Handwritten text in a vertical column on the left side of the top page, continuing the text from the previous block.



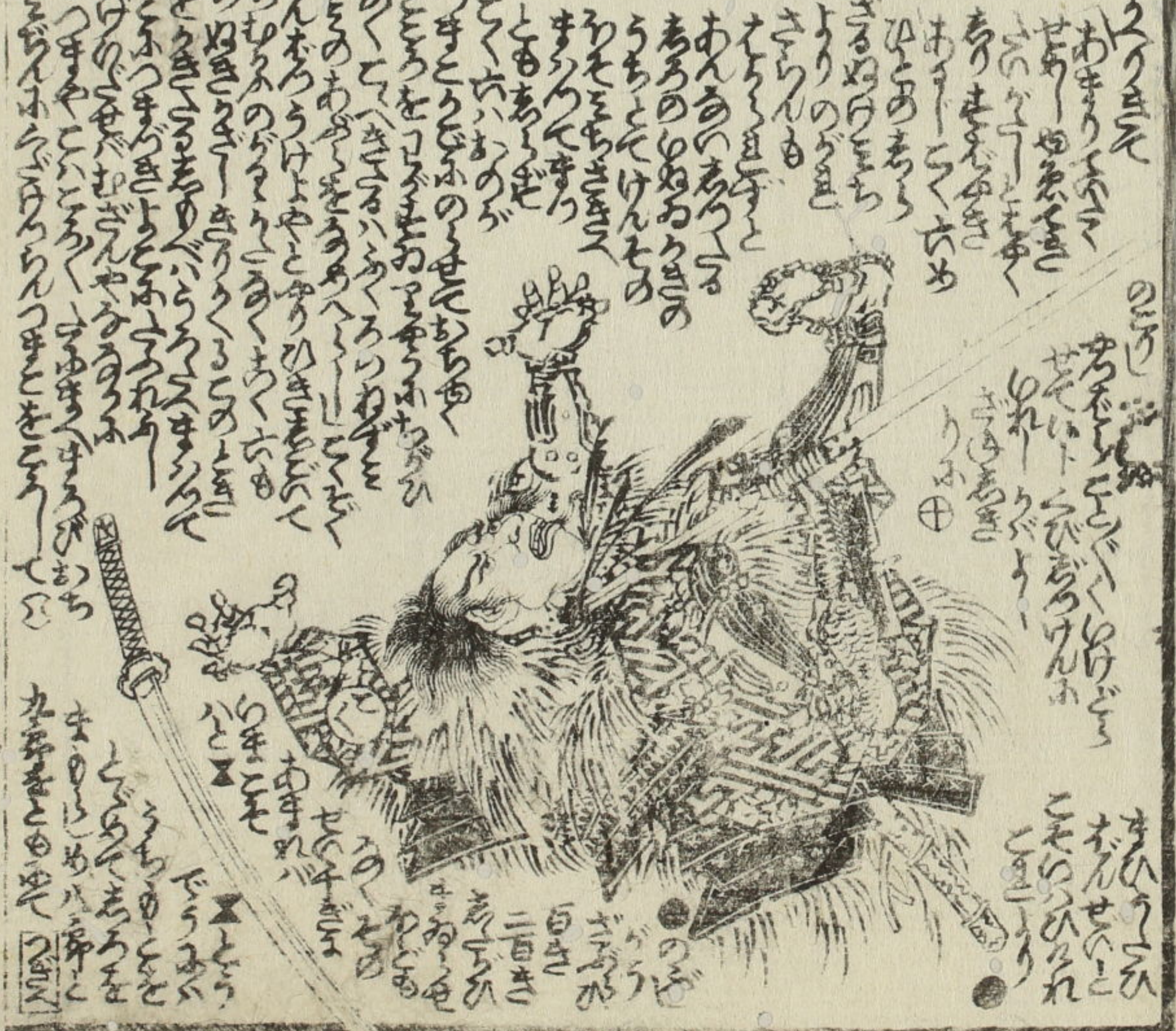
Handwritten text in a vertical column on the right side of the top page, positioned above the main illustration.



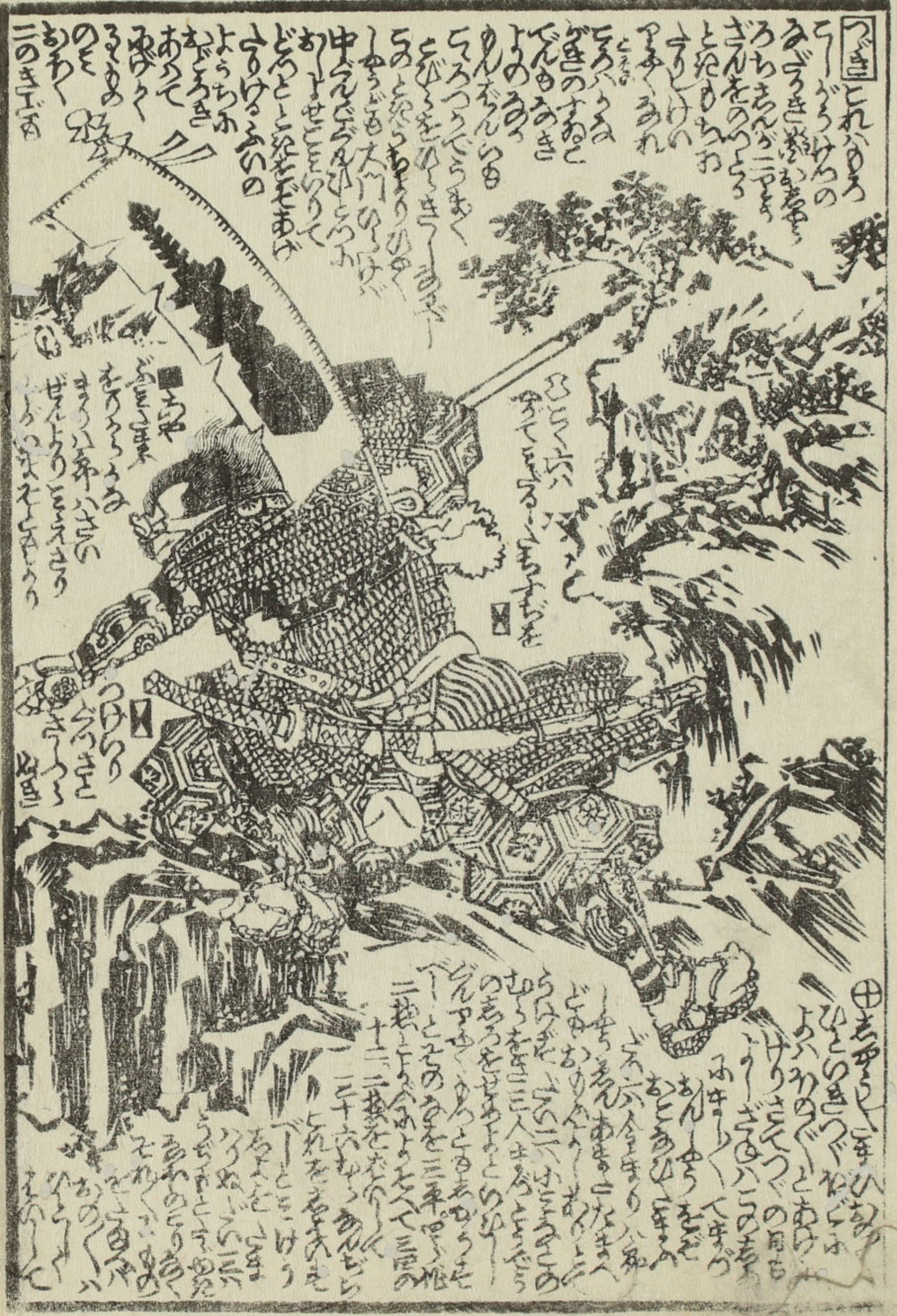
Handwritten text in a vertical column on the right side of the bottom page, positioned below the main illustration.



あつちのうらと
このまじり
せのあつち
あつちのうらと



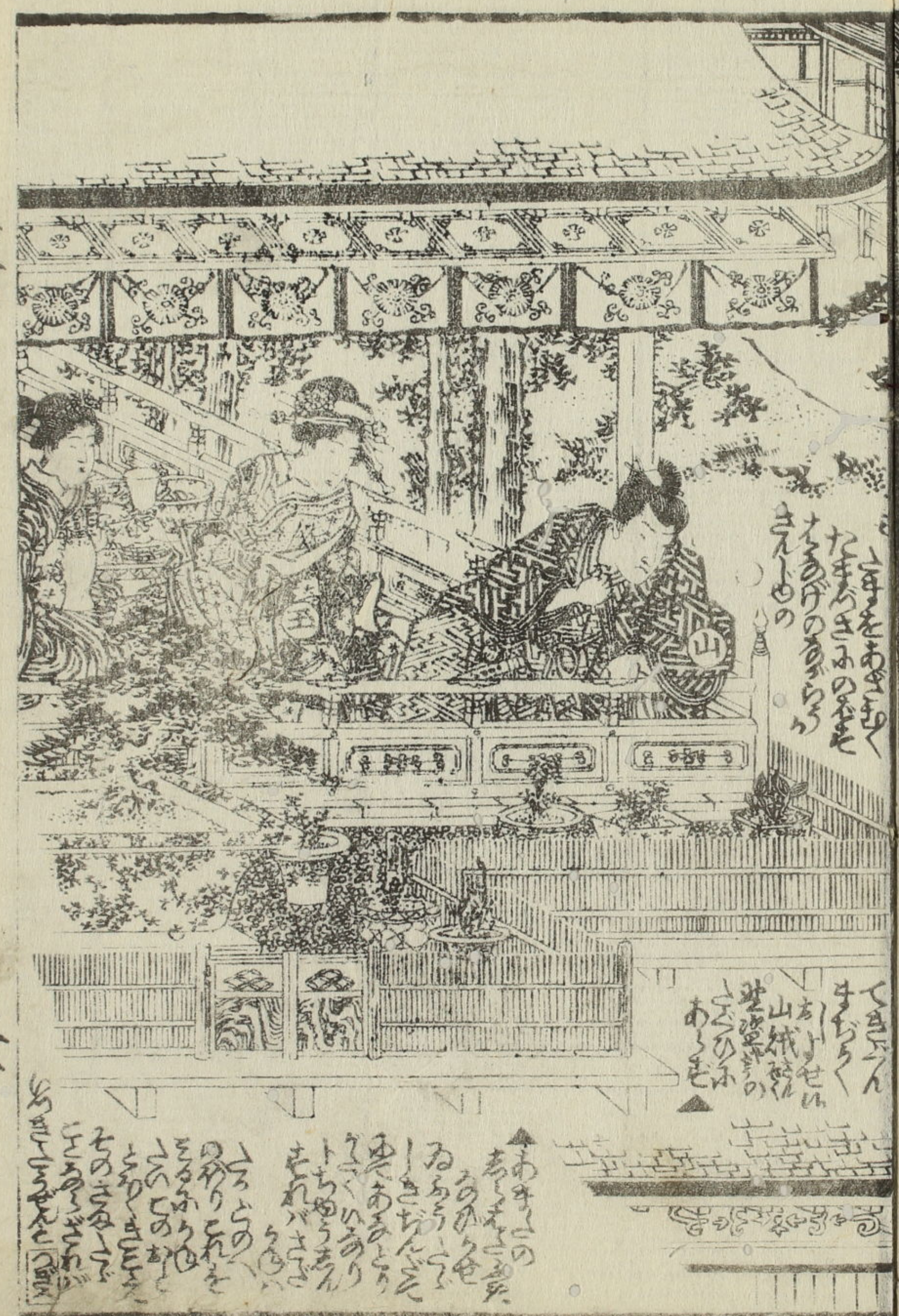
あつちのうらと
このまじり
せのあつち
あつちのうらと



あつちのうらと
このまじり
せのあつち
あつちのうらと

あつちのうらと
このまじり
せのあつち
あつちのうらと

あつちのうらと
このまじり
せのあつち
あつちのうらと



山
五年をあらわす
たまたまふしのを
たのげのあらわ
まへの

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



つぎ
おとせ
ゆめ
ちか
あきら
まこと
さき
つぎ
あきら
まこと
さき
つぎ

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの

歌川豊國画

永代常夜燈

仙果筆記



弘法大師 筆海四國聞書
初編五編を當年出版

柳亭種彦作
 梅蝶樓國貞画

権現堂 假名情談戀畦倉
初編五編を當年出版

瀬川如阜作
 梅蝶樓國貞画

倆時次郎 明鴉墨画廻柄襦
四編七編を當年出版

三亭春馬合作
 梅蝶樓國貞画

童謡妙々車
十四編を種彦作
 十六編を國貞画
 出版

花封蒼玉章
六編種彦作
 七編國貞画

薄倂幻日記
九編春水作
 十一編國貞画

尖傳犬の州紙
十三編柳亭録
 十四編國貞画
 十五編國貞画

地本草紙問屋

南傳馬町堂丁目
 葛屋吉藏板

